



FUJISOFT

2019年5月22日
富士ソフト株式会社

富士ソフト、高校生ロボット相撲大会表彰のお知らせ
～公益社団法人全国工業高等学校長協会 100周年記念～



富士ソフト株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員:坂下 智保)は、公益社団法人全国工業高等学校長協会(所在地:東京都千代田区 理事長:佐々木 哲)より、長年の「高校生ロボット相撲大会」共催について表彰をされたことをお知らせいたします。

高校生ロボット相撲大会は、公益社団法人全国工業高等学校長協会主催で 1993 年から開催され、これまで延べ 17,375 台の高校生ロボット力士が日本一の高校生ロボット横綱を目指して技術とアイデアを競ってきました。

全国工業高等学校長協会 100 周年記念式典(会場:ハイアットリージェンシー東京)が開催され、当社はこれまでの高校生ロボット相撲大会の共催を通じて、全国のものづくりを学ぶ生徒への挑戦と創造の場を提供していることが評価され、このたびの表彰にいたりました。

今回の表彰に際して、公益社団法人 全国工業高等学校長協会 理事長 佐々木 哲様よりコメントを頂戴しております。

「富士ソフト株式会社には、長年にわたり高校生ロボット相撲大会ならびに高校生ロボットアメリカンフットボール大会の開催に多大なご支援を賜りました。感謝申し上げます。引き続き同大会へのご支援賜りますようお願い申し上げます。」

富士ソフトは今後もロボット相撲大会を通じて、生徒・学生ならびに社会人が「ものづくり」の楽しさ、研究意欲向上、創造性発揮の場を提供してまいります。



100周年式典での受賞の様子
弊社代表取締役 会長執行役員 野澤宏



昨年度「高校生ロボット相撲全国大会 2018」の様様
(2018年11月23日)

以上

この件に関するお問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部 担当/政木・青山
〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3
TEL:050-3000-2735 FAX:03-5209-6085 E-MAIL:mkoho@fsi.co.jp



FUJISOFT

参考資料

【全日本ロボット相撲大会について】

「全日本ロボット相撲大会」は、ロボット作りを通して『ものづくり』の楽しさを知ってもらう場を提供することを目的に 1990 年より開催している国内最大規模のロボット競技大会です。

参加資格に制限のない「全日本の部」と高校生だけが参加できる「高校生の部」（「高校生の部」は 1993 年より開催）で構成され、自作したロボットを力士に見立て、技術とアイデアで相手を土俵から押し出す競技で、それぞれ自動的に動くプログラムを内蔵した「自立型」と、ラジコン操縦で動かす「ラジコン型」の 2 種類のロボットが出場します。

「全日本ロボット相撲全国大会」は、富士ソフトが主催する「全日本ロボット相撲大会」の「全日本の部」の全国大会です。

■ 試合規則について

直径 154cm の鉄製の土俵上で“ロボット力士”が勝負に挑む。土俵から落ちたら負けの三本勝負

部門 「高校生の部」は高等学校の生徒

「全日本の部」は参加資格制限なし

種類 自動的に動くコンピュータプログラムを内蔵した「自立型」と、ラジコン操縦で動かす「ラジコン型」の 2 種類

規格 幅・奥行き 20cm 以内／高さ自由／重さ 3kg 以内

■ 全国大会進出台数

高校生大会 自立型・ラジコン型 各 32 台 合計 64 台

全国大会 自立型・ラジコン型 各 106 台 合計 212 台

<全国大会出場数内訳>

〔国内大会枠〕自立型・ラジコン型 各 32 台 合計 64 台

〔海外大会枠〕自立型・ラジコン型 各 39 台 合計 78 台 ※海外大会 39 大会の優勝チーム

〔国代表枠〕自立型・ラジコン型 各 35 台 合計 70 台 ※海外大会開催国 35 カ国の国代表チーム

■ 主催

全日本の部：富士ソフト株式会社

高校生の部：公益社団法人全国工業高等学校長協会

■ 後援(2018 年度)

文部科学省、開催都道府県教育委員会、一般社団法人日本ロボット工業会、

一般社団法人日本ロボット学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人電気学会

■ 出舞台数(2018 年度)

1,054 台(高校生の部 243 台、全日本の部 811 台)